

会員より ～ グリーンインフラに関する会員の取組を紹介します！ ～

■ 環境・社会課題の解決に向けたサステナビリティへの取組み

緒方 雄一（株式会社三菱UFJ銀行）【金融部会 幹事】

2030年に向けたサステナブルファイナンス目標を20兆円と定め、ESGやSDGsに関連するサステナブルファイナンスを通じたグリーンインフラへの貢献や、環境や社会に及ぼすインパクトを考慮したインパクト投資などの取組みを行っています。

● 「東京ポートシティ竹芝」の開発に係るサステナビリティローンの組成



東京ポートシティ竹芝

- 2020年12月に、東京ポートシティ竹芝の開発を対象として、資金使途をグリーンプロジェクトおよびソーシャルプロジェクトに限定するサステナビリティローンを組成しました。
- 東京ポートシティ竹芝は、低層部における多段式の雨水貯留や地上部のレインガーデンの他、1,700㎡にわたる緑地空間などグリーンインフラの整備がされており、周辺エリアとの生物多様性の保全も図られています。

● サステナブルビジネス投資戦略の策定と出資実施について



再生可能エネルギー関連

- 2019年12月に、投資判断においてリスク・リターンに加えて、環境・社会インパクトも考慮する新たな投資戦略を策定しました。
- CO2削減量に将来の炭素価格を乗じて試算するインターナルカーボンプライシングを導入し、実際に気候変動対策分野を投資対象とするファンドに出資を行っており、出資分に相当するインパクト（CO2削減量）は年間約5万トンを見込んでいます。

詳細はこちらから ▶▶▶ 「サステナブルビジネス投資戦略策定と出資実施について」
(<https://www.bk.mufg.jp/houjin/info/pdf/20200805.pdf>)

■ 水辺再生と市民協働のグリーンインフラ実装に向けた取組み

滝澤恭平（ランドスケーププランナー、株式会社水辺総研取締役）【企画・広報部会 幹事】

全国の水辺空間の再生支援を行いながら、地域コミュニティにおける市民協働型のグリーンインフラ実装に関する研究・開発を行っています。

● 水辺空間再生プロジェクトの実装支援



竹芝干潟の風景

- JR東日本の再開発プロジェクトWATERS takeshibaの水辺のまちづくり検討業務にて、竹芝干潟の再生と船着き場設置の計画支援を行い、竣工後は近隣の学校やエリアマネジメント組織と連携した維持管理プログラムを運営しています。
- 市民組織・善福寺川を里川にカエル会のメンバーとして、杉並区の善福寺川の源流・善福寺公園内水路にて、地域の活動主体と協働し、水辺の空間と生態系の再生事業を実現しました。
- 国土交通省のミズベリング・プロジェクト事務局ディレクターとして、官民連携で全国の水辺空間の使いこなしを促進するソーシャルデザインを実施しています。

詳細はこちらから ▶▶▶ 「ミズベリング・プロジェクト」 (<https://mizbering.jp/>)

● ランドスケープ、グリーンインフラに関する研究・執筆



ハビタ・ランドスケープ

- 全国37地域を巡り、風土における人びとの棲みこなし方を取材した著書『ハビタ・ランドスケープ』（木楽舎）を出版、日本旅行作家協会「旅の良書2020」に選定されました。
- ニューヨークのゴワナス運河流域再生における市民組織「ゴワナス・キャナル・コンサーバンシー」によるグリーンインフラ適用について、日本造園学会に論文が掲載されました。
- 横浜市旭区白根地域にて自治会、八千代エンジニアリング、東京都市大学などと協働で、市民参加型グリーンインフラ地域ビジョンを策定し、土木学会土木計画学にて発表を行いました。

詳細はこちらから ▶▶▶ 「ハビタ・ランドスケープ」 (<http://www.kirakusha.com/book/b457790.html>)

プラットフォームより

■第1回グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」が決定！

○ 会員の皆様からの投票などにより、第1回グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」が決定しました！受賞された方々はおめでとうございます！

【防災・減災部門】



【生活空間部門】



○ 「国土交通大臣賞」受賞事例は、第2回シンポジウムで表彰及びディスカッションを行います。ディスカッションでは、取組のポイントや今後の展開について議論するとともに、会員の皆様からのご質問にもお答えしていきたいと思っております。ぜひ、ご視聴ください！

【都市空間部門】



【生態系保全部門】



詳細はこちらから ▶▶▶「グリーンインフラ大賞」(<https://gi-platform.com/project/#practicalExample>)

■第2回シンポジウムをWEB開催します！（3/18～23）

○ グリーンインフラ官民連携プラットフォームが発足して1年。この1年間の様々な活動について報告するとともに、ステップアップを目指し、将来の展望も交えながらディスカッションを展開します。

3月18日(木)14時～

- ・開会挨拶 二宮 雅也
- ・グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」表彰
- ・プラットフォームの活動紹介
- ・【事例】「コウノトリ野生復帰」をシンボルとした自然再生



3月22日(月)13時～

- ・【事例】仙台ふるさとの杜再生プロジェクト
- ・【事例】守谷版グリーンインフラの取り組み
- ・【事例】中間支援組織がつかなく狭山丘陵広域連携事業



3月19日(金)14時～

- ・基調講演「ローカルから未来をつくる」
指出 一正 ソトコト編集長
- ・【事例】Marunouchi Street Park 2020



3月23日(火)14時～

- ・対談 浦井史朗×伊藤聡子
「グリーンインフラとそれによってつくられるグリーンコミュニティ」
- ・プラットフォームの成果報告と今後の取組



「第2回シンポジウム」(https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000239.html)

■ 会員情報 1016人・団体（2021年1月31日時点）

● 新たな一号会員

- ・北海道 北広島市

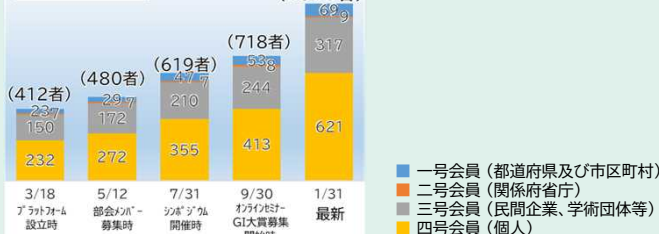
● 新たな三号会員（民間企業、学術団体等）

- ・株式会社山田造園
- ・沖縄環境分析センター
- ・株式会社日吉
- ・株式会社地域環境計画
- ・山陰緑化建設株式会社
- ・日本体育施設株式会社
- ・株式会社今治 夢スポーツ
- ・福島大学
- ・京福コンサルタント株式会社
- ・株式会社宇部セントラルコンサルタント
- ・アキ・サウンドデザイン合同会社
- ・田島緑化工事株式会社
- ・株式会社松竹園
- ・株式会社水道産業新聞社
- ・株式会社アイビー・ガーデン

● 二号会員（関係府省庁）※記載方法を変更

- ・国土交通省 総合政策局 環境政策課
- ・国土交通省 総合政策局 社会資本整備政策課
- ・国土交通省 都市局 公園緑地・景観課
- ・国土交通省 北海道開発局 開発監理部 開発連携推進課
- ・国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所
- ・環境省 自然環境局 自然環境計画課
- ・環境省 九州地方環境事務所 環境対策課
- ・内閣官房 水循環政策本部事務局
- ・農林水産省 大臣官房政策課 環境政策室

● 会員数の推移 (1016者)



■ 人物紹介

※グリーンインフラに携わる方々を毎月紹介します



うらしま ひろこ
浦嶋 裕子 (出身:東京都豊島区)
O型

MS&ADインシュアランス グループ
ホールディングス株式会社

総合企画部 サステナビリティ推進室

新卒で銀行に勤務後、社会文化系研究所で地域活性化の研究に従事。研究テーマが廃止され退社、フリーでNPO等を設立し活動。出産を機に転職し、2008年より現職。現在、災害リスクと自然資本の観点から再び地域に関われることにやりがいを感じています。

グリーンインフラ官民連携プラットフォーム

プラットフォームの活動 開催情報 グリーンインフラフォーラム

新規登録

プラットフォーム専用サイトへ

新規登録はこちら

<https://gi-platform.com/>

随時会員募集！
登録無料！
団体でも
個人でも登録可！

今すぐ、
左記サイトから
登録を！！